

株式会社 リコー

社員一人ひとりが主体的に自己実現を
図りながら会社に貢献する自律的キャリア形成を
支援し、企業価値の向上と、
個人の成長の同時実現を目指します

企業紹介 ● imagine. change.

想像力の結集で、変革を生み出す。
未来起点でお客様に新しい価値を提供していきます。

リコーはお客様の仕事や暮らしをより良くする新しい考え方、新しい方法を生み出し、常に進化しています。想像力豊かな発想こそ変革の原動力。

これがリコーブランドの核心です。私たちがどのように力を合わせていくのか、どのようにお客様のビジネスに新しい価値をお届けするのか、市場とどのようにかかわっていくのか。

“imagine” と “change” という簡潔で力強い2つの動詞で表現しました。

私たちの創造性と、将来を見据えた発想で、より良い未来を切り拓いていく。そんな強い想いが「imagine. change.」には込められています。

お客様のビジネスに変革をもたらす、お客様が知識や想像力を結集させて大きな力を発揮する。この願いを実現する答えが「imagine. change.」です。

プロフィール 事業内容(業種) 電気機器
所在地 東京都中央区
従業員数 11,200人(男性9,627人、女性1,573人、うち非正規雇用社員602人)
平均年齢 42.0歳(2015.4.1現在)

キャリア支援の取組

わが社の
理念・方針

創業の精神

「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」 —三愛精神—

リコーグループは1936年の創業以来、世の中にイノベーションをもたらす製品やサービスを提供し、お客様と共に成長してきました。そして、私たちはお客様や社会からの厚い信頼を得、存続と成長を望まれる企業であり続けるために、「人を愛し・国を愛し・勤めを愛す」という創業の精神を基盤とした「リコーウェイ」を企業活動の基礎となる理念・価値観に据えて、全グループ社員でそれを実践しています。企業価値の向上に向けた事業戦略の実現のために、リコーグループで働く社員が、生き活きと新たなことに前向きにチャレンジする“働きやすい会社”を目指し、人事制度の改革やキャリア開発支援を行っています。

ありたい姿の実現に向け「自ら取り組み、自ら学ぶ」

I. “7つの人材タイプ” に向けたキャリア形成を支援

企業の変革と成長を実現するためには多様な人材の協業がキーであるとの考えから“7つの人材タイプ”を定義し、社員が自らの適性、志向、能力に応じてキャリアアップを図ることができる仕組みを構築しています。

① 7つの人材タイプ

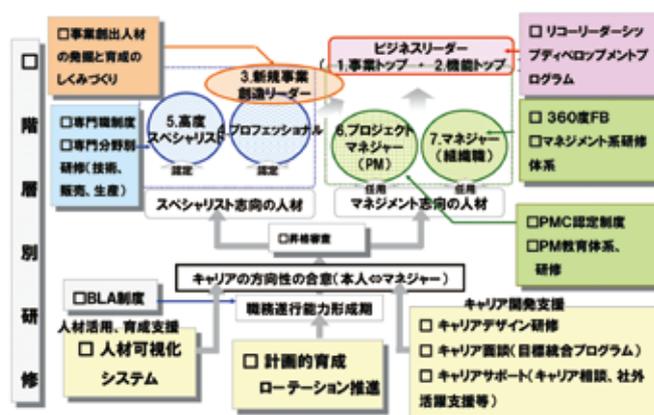
既存の事業で更なる高効率を実現するとともに、事業の変革・新規の事領域／マーケットへの挑戦の成功を同時実現するために必要となる人材です。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. ビジネスリーダー（事業トップ） | 2. ビジネスリーダー（機能トップ） |
| 3. 新規事業創造リーダー | 4. プロフェッショナル |
| 5. スペシャリスト（高度スペシャリスト） | 6. プロジェクトマネジャー |
| 7. マネジャー | |

② 7つの人材タイプ別育成とキャリア開発支援施策

7つの人材タイプの輩出に向け、人材タイプ別に様々な制度・仕組みを構築しています。

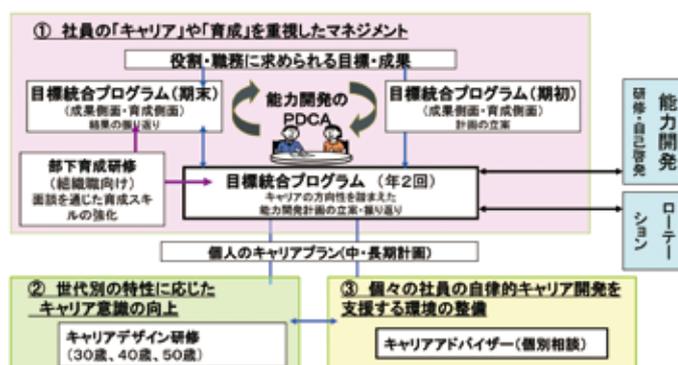
その一つに、プロジェクトマネジャー (PM) と組織職の人材輩出、育成強化を目的とした「PM コンピテンシー認定制度 (PMC)」があります。PMC は、社内基準に基づいてプロジェクトマネジメントの能力を認定する制度で、社員が認定条件にチャレンジし、自らの知識・スキルを向上させるとともに、組織やコミュニティの活性化に貢献します。認定者には、PM や組織職に優先的に任命されるインセンティブが与えられ、さらに将来のキャリアにつながる道を自ら切り開くことができます。



II. “目標統合プログラム” で仕事と能力開発のPDCA サイクルを実現

① 社員の「キャリア」や「育成」を重視したマネジメント “目標統合プログラム”

上司と部下の積極的なコミュニケーションを通じて、社員の主体的なキャリア開発の支援と上司の部下育成を強化する“目標統合プログラム”を実施。社員一人ひとりの「やる気のサイクル」を円滑に機能させるとともに、中長期でのキャリアプランと能力開発を上司と部下の間で整合し、仕事と能力開発のPDCA を実現しています。



② 世代別の特性に応じたキャリア意識の向上 “キャリアデザイン研修”

人生・キャリアの節目(30歳/40歳/50歳)で、社員が自律的にキャリアを考える場として、全社員を対象とする“キャリアデザイン研修”を実施しています。キャリアデザイン研修では、過去と現在の自分を振り返った上で、将来に目を向け、自己と組織のニーズを統合し、キャリアビジョンを描き、その達成のための具体的なアクションプランを考えていただくことで、社員の自律的なキャリア形成をサポートします。

③ 個々の社員の自律的キャリア形成を支援する環境の整備 “キャリア相談”

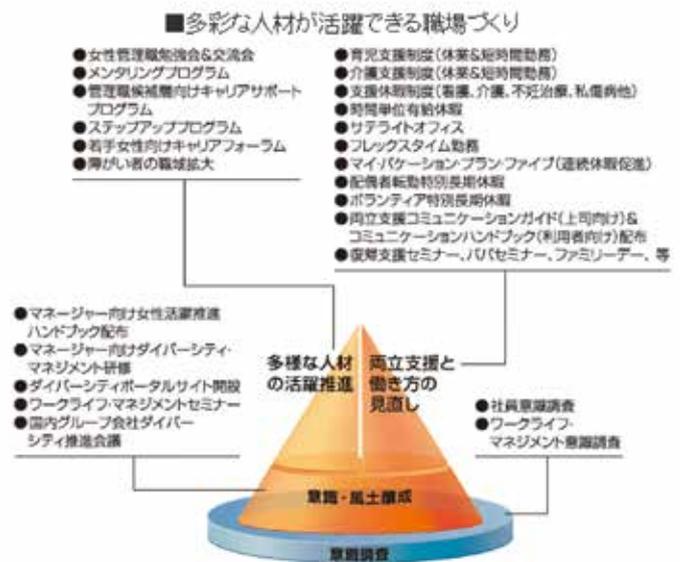
“キャリア相談”は、社員が仕事やキャリアに関して安心して相談できる場です。社員が“やりがい”や“働きがい”を感じて生き活きと仕事ができるように、専門の資格を持った相談員が、個人の視点に立ち、一人ひとりをサポートします。

Ⅲ. “ダイバーシティ&ワークライフマネジメント”を推進

多様な属性を持った社員が持てる力を最大限に発揮し、新しい価値や成果を出し続けられる環境をつくるために、「意識・風土醸成」「両立支援と働き方の見直し」「女性活躍推進」の3つの軸で、ダイバーシティ&ワークライフマネジメントを推進しています。

① 意識・風土醸成

2000年代当初から、多様な人材が活躍できる職場づくりのベースとして“意識・風土醸成”に取り組んできました。管理職向けには、360度評価へのダイバーシティ観点の項目の追加やセミナーの開催など、マネジャーの意識と行動を変える取組を行い、全社員向けには、ダイバーシティ&ワークライフ・マネジメントのポータルサイトを開設し、会社の方針や目指す姿、具体的な取組事例などを紹介し、周知と浸透を図っています。



② 両立支援と働き方の見直し

育児休業法施行前の1990年に、育児休業と短時間勤務制度を導入しました。また、社内イントラネットで「両立支援のしおり」サイトを開設し幅広い情報を掲載するなど、復職に向けた不安解消にも配慮しています。

③ 女性活躍推進

女性がライフイベントを迎えた後も、単に働き続けることができるというだけでなく、活躍できるステージを更に広げていくことを目指しています。女性の活躍推進を加速するためのポジティブアクションとして、「若手女性社員キャリアフォーラム」「ステップアッププログラム」「女性管理職ネットワークによる相互研鑽と後輩女性サポート」等世代やキャリアステージに応じた施策を展開しています。

これらの取組は社外からも注目を集め、「ダイバーシティ経営企業100選」選出(2013年)、「イクメン企業アワード特別奨励賞」受賞(2013年)、「プラチナくるみん」認定(2015年)等、様々な評価をいただいています。これからも多様な人材が生き活きと働ける環境づくりを目指していきます。

取組の効果や課題と今後の取組の方向

7つの人材タイプを輩出、女性管理職も増加

Ⅰ. 7つの人材タイプ育成の効果

“7つの人材タイプ” 育成の効果が現れています。ビジネス / 新規事業創造リーダーについては、タレント育成プログラムに2014年度で268人が選抜されました。プロフェッショナル / 高度スペシャリストについては、2014年度に新たに16人の高度専門職である技師長・審議役が誕生しています。プロジェクトマネージャーについては、社内PM認定制度であるPMCの認定者が2014年度末時点で87人となりました。

Ⅱ. キャリア意識の向上

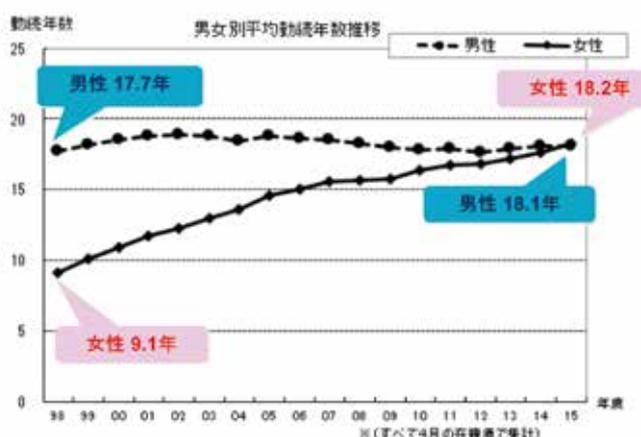
キャリアデザイン研修実施後のアンケート結果から、受講生のキャリア開発に対する非常に高い理解度が見て取れます。「理解はできたが、具体的な行動計画が作れない」という社員には、キャリア相談等により個別にフォローを行っています。

Ⅲ. 女性の活躍

女性社員活躍のための種々の施策により、女性の平均勤続年数は男性と肩を並べる水準になりました。また女性管理職の比率は、2000年度末の8人から、2014年度末には110人と大きく増加しました。

| 年度 | 女性 管理職数 | 女性管理職 比率 |
|---------|------------|-------------|
| 2000年度末 | 8人 | 0.3% |
| 2014年度末 | 110人 | 3.3% |

<女性管理職数/比率>



トピック

社会や地域との関わり ～未来を担う次世代の育成～



▲市村自然塾 関東

未来を担う次世代の育成は、持続可能な社会を実現していく基盤であり、社会全体として取り組み、企業もその一員として役割を担う必要があります。リコーは、子どもたちに体験・活動を通じて自ら学び、成長できる環境を提供する活動を継続的に行っています。

「市村自然塾 関東」は、“生きる力を大地から学ぶ”の理念のもと、農作業と共同生活を通じて子どもたちの成長支援を行っています。

また、青少年の理科離れが進んでいるとも言われる中、全国の子どもたちに科学を好きになってもらう機会を提供することを狙いとして、全国の科学館や学校などの教育施設を訪問し実験教室を行う「リコー・サイエンスキャラバン」を展開しています。



▲リコー・サイエンスキャラバン